

二〇二四年五月四日（明石句会・参加者五名）

睡蓮の咲きそむ池の静けさよ	素 秀
城やぐら四圍を陣取る楠若葉	素 秀
鳶の舞ふ櫓明るき五月空	素 秀
イベントの出店居並ぶ新樹影	素 秀
余念なきボランティアどち薔薇の苑	せつ子
よとよちと石橋渡る夏帽子	せつ子
諸手あげ幼の潜るバラアーチ	せつ子
樹下涼し草やはらかに広がりぬ	わかば
ボランティア園丁で混む薔薇の苑	わかば
碧天へ千手を翳す新樹かな	わかば
連理とし幾年月を経し夏木	恵 子
先頭は虫網の子ら森暑	恵 子

月例句会みのる選

二〇二四年五月四日（明石句会・参加者五名）